

車がまはる説明などを細々とする事は勿論なくてよいのであるが、作つた風車をもて遊ばせて、風がふいてゐる時はたゞおいておいる事など実際に廻らせて見る事である。もしもこの時に、廻らなかつたり、或は廻り方が不充分であつたりした場合に、だこの工合が悪いので廻り方が悪いかを保母の方で見つけてその時こそこれ／＼のためによく廻らないからこゝをこんな工合に直すといふ事を説明しながら直すなどよい。

### 誘導保育

#### 菊池ふじの

學校ごっこ 第二期も進み、運動會や遠足が過ぎると、年少

組でもお互同志の間のぎこちなさが取れて来て、相當心臓な一人のリーダーを中心にして、學校ごっこを始めるのをよく見かけます。この案はこゝを狙つたわけなのです。この子供達が自然にする遊びに、物的にも精神的にも内容を與へ、又永續性をも與へ、併せてこの遊びを利用して此の時期に與へ度い訓練要綱を子供等の間に徹底しやうとするのであります。事實、保母と幼児との間では仲々理想通りに行かない掛けの問題など、一人のリーダーを

は、別人かと思はれるぐらゐに活潑に、はき／＼と行動をしてゐるのを見ます。行動だけでなく、ものを言ふこと、お返事をはき／＼することなどこのいゝ例です。それから、以上の他にこの案で狙ふ訓練要綱とはどんなものでせうか。

ものごとをきちんと整理整頓すること、きちんとした態度、こう言つたことが苦もなく行はれます。  
併しこの案は如何なる場合にも實施出来るといふことは言へないと思ひます。おとなしい子ばかりで、リーダー格の子供のるない組にさせやうとしても駄目ですし、又内氣なはにかみやさんといくら先生になるやうに仕向けても到底もなれるものではあります。又下手に大人が傍についてて始終見てゐては恥しがつてこの遊びは行はれません。この邊のこゝがなが／＼大事だと思います。

學校ごっこが恥しいながらも或る輝かしい希望に満ちた面持で子供達の間に行はれますのは、學校—國民學校が子供達にとって憧れの的であるからです。就學前期の幼児に向つて、一も二もなく、もう學校へ上るのだから、といふことを條件とし、或時はたしなめとして持ち出される場合を屢々見聞するには周知の事實であります。

扱て、學校ごっこに於きましては、机の配置なども國民學校にした方が感じが出ると思ひます。及び先達までは、國民學校の机の配置など、幼稚園式になつて來て居りましたが、この場合には、却つて所謂學校式に並べませう。それから學校用具としてどんな試みてみるとに仲々うまくいきませんのに、この學校ごっこで

ものが入用かと聞いて見た時に、子供等は異口同音に鞆と答へたものでした。鞆は入學の象徴として第一に欲しいものであるやうです。次にと聞くと、筆箱、本、お帳面、塗繪、鉛筆、クレヨン、ゴムケシ、お弁當と述べ立てました。

これ等の用具の中には、幼兒達が幼稚園で、保育用具として使つてゐるものがかなりありますので、或る場合にはそれ等を流用しやうと考へたこともありますたが、併し、子供達があのやうに學校ごつこを喜ぶ中には、こうしたお道具が、幼稚園のそれと異つた改まつた品であるといふ爲も多分にあるやうですので、事情が許すなら別に製作させた方が一層喜ばれ、又遊びの活氣もあります。では、次にこれ等の用品の製作について申し上げませう。

鞆 ランドセルらしく持へればどんなにか喜ぶことでせうが、あゝいふ形にこしらへる事はなか／＼六ヶ敷うございますから、ご本のケースを利用する事が一番手軽にも出来、又しつかりして暫くの使用に堪へると思ひます。このケースに思ひ思ひの切り紙をさせ、リボンの紐をつけて、肩から斜に下げられるやうに作ります。

筆箱、鞆が大きく、厚みもあるものでしたら、この筆箱も、古い細長い筆箱大の箱を利用し、これにやはり子供の好きな切り紙をさせて用ゐると面白いものです。若し鞆に利用した本のケースが部薄のものだと、この筆箱がはりません。實際、子供に持つて來て貰つたものの中には、筆箱もはるやうな大きい厚いものよりも、四六判のしかも薄いケースの方が多いものです。この場合には筆入れは、厚紙で折り疊んだ、たゞ式のものがよいと思

ひます。これにやはり、切り紙なり、繪なりを描かせます。  
お帳面 蓋半紙で綴ぢて與へませう。

塗り繪 子供の好きさうな繪柄を四五枚臍寫版ですつてこれを綴ぢ、塗り繪帳として鞆の中に入れて上げませう。

鉛筆、ゴム消し、クレオン、幼稚園で使つてゐるものとは別にこれ等の品を與へたらどんなに喜ぶことでせうが、なか／＼これ丈の品は大變ですから適宜にいたしませう。

小さい塗板、或は幼稚園の塗板そのものを學校ごつこの塗板として使用出来る様學校ごつこの凡てのものゝ配置を考へませう。  
期待效果は、學校生活の興味、訓練、手技。繼續時間は、二週間位でえう。

双 六 十一月半はなのに双六作りとは少々早過ぎて、氣分が出ないの憾みが無きにしもあらずですが、組の子供の各々に作らせるには、相當長時間を要しますので、今からぼつ／＼描き方切り方貼り方などを始めませう。

双六の繪柄は、動物づくしであるとか、お花づくし、乗物づくし等何れも面白い味ほひのあるものが出来ます。子供の希望に従つてどれでもを選ばせませう。個人々々によつて繪柄が異りますし、又一種の双六を作るのにも十数枚描かしめねばなりませんので、その指導誘導が仲々骨が折れます。

期待效果は、年中行事の興味、數観念の初步養成、手技、觀察。繼續作業時間は四週間位。一生懸命やつて、三十人の子供で、この位の日數は充分に要します。たゞ一組五十人と降らない大勢の子供を、お一人がお二人の先生のお受持ではなか／＼實施が困難なこと、お察し致します。